

平成28年度事業報告書

平成28年 4月 1日 から 平成29年 3月31日まで

(法人の名称：特定非営利活動法人 スポーツコミュニティー軽井沢クラブ)

1 事業の成果

平成28年度は、軽井沢町振興公社とSC軽井沢クラブの共同企業体である『風越パーク
コオペレーション』（以下 風越PCO）の指定管理業務の新たな5年契約がスタートいたしま
しました。期初よりテーマとして掲げていた運営組織そして会計の一本化にも取組み、構成団
体間の風通しも非常に良くなってまいりました。公園の年間来場者数も320,000人を
越え、順調な推移を辿っております。風越公園が地域スポーツそしてスポーツツーリズムの
拠点として活用されるよう、確りと指定管理者としての責務を果たしてまいります。

12月に行われました「軽井沢国際カーリング選手権」は今回もワールドカーリングツア
ーの一環として行われ、大会規模が拡大しております。プロツアーという話題性・豪華招待
チーム・TV放送・銀座NAGANOとのコラボレーションなどが奏功し、今回は期間中の
来場者が2,800人に達しております。

新しい動きとして、昨年新たに2つのクラブチームが発足いたしました。一つ目がフット
サルチームの「SC軽井沢クラブ」で、昨年は惜しくも県リーグ2位という成績でした。北信
越リーグ昇格を目論むTOPチームだけではなく、スクール事業や個サル、ワンデー大会等
を通じて「フットサルを軽井沢の生涯スポーツに！」を目標に活動しております。そしてふた
つ目が「軽井沢スケートクラブ」です。軽井沢ではスピードスケート競技者を志すジュニア
選手がめっきり減ってしまいましたが、風越公園屋外スケートリンクという好環境を味方に、
選手育成を目的とした活動を始めております。釧路の大会ではこのクラブの5年生が500Mノ
ービス学年別で優勝。幸先の良いスタートを切ることが出来ました。

私たちの掲げる「軽井沢に集う全ての人々に、健康で明るく楽しいスポーツライフを実現
させるために、さまざまなスポーツ活動の機会を提供し、クラブを核としたコミュニティー
を創る。」の実現に向けて、多様目・多世代の活動を充実させて参ります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

※詳細を別紙に記載いたしました。

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
地域スポーツ事業	指定管理施設における自主プログラム クラブチーム運営	(A) 通年 (B) 風越公園 (C) 17名	(D) 地域住民・観光客 (E) 31,700名	24,000(千円)
アスリート支援事業	カーリングチーム支援 カーリングエリートアカデミー	(A) 通年 (B) 軽井沢町内 (C) 4名	(D) 選手 (E) 15名	8,800(千円)
健康増進事業	木もれ陽の里派遣 シニアを対象とした各種教室	(A) 通年 (B) 軽井沢町内 (C) 3名	(D) 地域住民 (E) 20,300名	15,000(千円)
集客交流事業	スポーツイベントの運営	(A) 随時 (B) 軽井沢町内 (C) 3名	(D) 地域住民 外来者 (E) 10,000名	53,200(千円)

(2) その他の事業（特定非営利活動に係る事業以外の事業）

実施しておりません。

(記載上の注意事項) ※この事項は、提出する様式に記載する必要はありません。

1 「2事業の実施に関する事項」は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。

なお、法人税法上の収益事業と非収益事業の区分ではありませんのでご注意ください。

2 2の(1)は、事業ごとに定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載してください。

3 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載してください。

4 2の(2)は、事業ごとに定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載してください。

また、定款上で「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなくても、必ず「実施しなかった」と記載してください。